



法要の様子



佛殿での大般若法要



佛殿

檀家・会員を全国から募集

長野県・軽井沢からほど近い自然に囲まれた地に森閑と佇む『曹洞宗 寶壽山 正安寺』が注目度を高めている。平安時代の創建から950年超の歴史を刻む名刹であることもあるが、37代目の塚田雅俊住職が断行した大胆な寺院経営改革が理由だ。

江戸時代から続く、地域に根差した檀家制度を改め、檀家を全国から募集しているのがその代表例。第二の改革が檀家でなくても入れる会員制の導入。第三は、ホームページで葬儀や法事、お布施などの費用の透明化を図ったことだ。齋場を持たない葬祭会社と提携し、一般的な葬儀の6割の価格でお葬式ができるシステムも導入した。



住職
塚田雅俊 さん

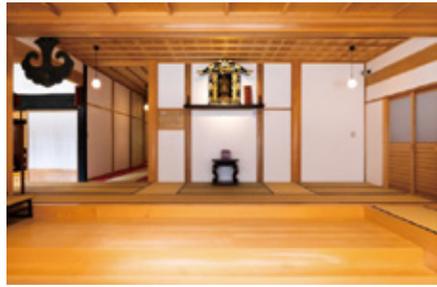
『曹洞宗 寶壽山 正安寺』の37代目住職。先代住職だった父親から学び、寺院運営の改革に着手。人に笑って和んでももらえるような要素を入れた法話で人気。FacebookやYouTubeなどのSNSでも情報を発信。

曹洞宗 寶壽山 正安寺

平安時代創建の名刹の大改革
住職が持続可能な寺院経営追求



土蔵内時代龍



受処大玄関



年中恒規行事

- 山主年賀相見
- 修証会並総代会
- 開山忌並檀越家春彼岸会
- 大般若祈祷会
- 花祭り
- 正安寺拝観並茶話会
- 新盆法要
- 成道会



寺院葬の様子



境内中庭

次の世代にこの寺を残すための改革

『曹洞宗 宝壽山 正安寺』は、延久4年（1072年）、群馬との県境に位置する荒船山麓の館ヶ沢に端を発し、正安元年（1299年）に現在の地に移り、長い歴史を歩んできたが、少子高齢化、核家族化、過疎化、信仰離れなどを背景に地域密着型の運営が難しくなり、「今後、20年で半数近くの寺院が消失する可能性がある」



と危機感を抱いたのが改革の発端だという。「お寺にとって本当に厳しい時代。基本的には、寺院経営をビジネスとして当たり前のように取り組み、次の世代にこの寺を残すための努力を重ねていきたいと思っています」持続可能な寺院経営を追求する塚田住職の意志は固い。

曹洞宗 宝壽山 正安寺

☎ 0267-62-6499
長野県佐久市内山7864



ホームページ



YouTube

✉ syoanji@fitcall.ne.jp
@syoanji

🌐 <https://www.facebook.com/syoanji55/>

<https://www.syoanji.jp/>